

3.自園でチームワーク意識を高めるために実践したり、工夫していることがありましたら以下に記述してください。

- ・職員会議等を用いて、各クラスの状況を共有し広い視野をもって保育をするよう心がけている。
- ・行事の1ヶ月ほど前に行事会議を開き、チームワークを生かして円滑に行事が進むよう役割や流れを細かく決めている。
- ・職員が仕事をする上での悩みや相談を言いやすい環境づくりを心がけ、解決策を考える。
- ・正社員だけではなく、パート保育士や調理師の意見も聞く。
- ・報連相の重要性を日頃から伝える。

園児が何かできるようになった時や、苦手な食べ物を少しでも食べた時に、職員みんなで喜びを共有しています。先生方のお誕生日も子ども達と同様に誕生会で歌を歌ったり、お祝いしています。出退勤時は顔をみて元気よく挨拶し合っているので、そこは一番大事なところだと思います。

職員間の風通しがよくなるようにコミュニケーションをとり、会議などでは全員が意見を言える雰囲気を中心に心がけています。自分と異なる保育観を持っている人の考え方、やり方を共有し、今日の前にいる子どもにとって、最善の利益は何なのか、みんなで考え共有していけるようにしています。

日頃からコミュニケーションを取り、意見なども話し易い関係になるように、心掛けています。園に関係すること・保育のことなど、些細なことも情報として共有できるようにしています。また、共有する情報は、出来る限り、話すことで伝えるようにしています。

昼例で職員間の共有を図っている。

普段からみんなでコミュニケーションを取ることを大切にし、些細な自身のことやクラスのことを共有することで職員同士がお互いのことを理解し、協力関係が生れるようにしています。

また、パート保育士も含めそれぞれの役割を明確化し、仕事のやり方、進め方は個人を尊重すること、それぞれが得意分野を活かせるような仕事を任せることで責任を持って楽しく仕事が出来るように工夫しています。

昼礼、月1回職員会議を行っています。園長から伝える事、本部にお願いしている事を話した後に園児の事で悩んでいる事、行事の事、購入して欲しい物等を話し合っています。園児の接し方で悩んでいたら保育に正解はないのでこうしてみたら？これも良いかも？と様々な意見が出ます。自分のクラスだけでなくみんなでやしお園の子ども達のことを考えて発言してくれるので職員も実践しています。

個別指導案も記入するだけでなく、職員全員が個々の今月のねらい、配慮を把握するよう印刷して全職員に回覧します。覚えられないと思うので各クラス(保護者見えないところに)掲示していつでも確認できるようにしています。個別指導も理解し個々の関わりもパートさんにも分かるようにする事で、「みんなで子育てをしている=チームワークが築けていける」のではと思っています。

園長として否定せずに肯定して1度受け止める。褒めることも大事。否定ではなくアドバイスをする。

園長や職員がいないと運営が成り立たないのと同じで、私1人では園は成り立たない気持ちを常に持ち職員一人一人がいるから助かる事、感謝の気持ちは伝えるようにしている。

パートの先生の必要さを個々に話し、正社員と常に同じ方向を向いてほしい事を伝えている。全員が承知したうえで、協力してもらっています。(担任・行事担当等)

正社員はパートの先生を引っ張っていけるよう、月会議(各クラス担任のみ)で意見交換や、色んな目線からみてどのように保育を進めていくのか等、話し合う。

月会議で話した内容は、職員会議で伝え全員で共有しています。

普段から保育について「この年齢はこんなことができたらいね。」とか「こうしてみたら…」などなにげない話をする事で各年

年齢の特徴やできるようになりたい子ども像をその場面に応じて会話している。

全員がその日にあった事や、連絡事項を共有できるように、申し送りノートを作成しています。また、小規模保育園なのでスタッフ全員が、子ども全員のことを把握できるようにその子の特徴を周知しています。毎月の会議で各クラス担任から、クラスの様子等の報告をしてもらい、毎月の成長を全員で見守っています。わからない事や迷った時はすぐに担任やベテランの先生に聞いて、一人で悩まず解決できるように促しています。

これは、私が実践していることですが、挨拶やありがとう、申し訳ございません、等は誰に対しても誠意をもって言うようにしています。1つのチームとして、全員で同じ目標に同じ方向を向いて行けるよう、私自身がお手本となれるような保育を実践していきたいと思っております。

お互いコミュニケーションを取るようにする。

今までのやり方(当園、他園)を尊重し、様々な事を職員と一緒に相談しながら決めている。

毎日、正職員は昼礼を行い園での出来事、子どもの心身の変化などを共有しています。

正規職員だけでなくパートタイムの職員にも話したことはノートにとり共有できるようにしています。

また、園の目標を掲示することにより1人ひとりが常に目標を持って保育できるようにしています。

情報共有をしっかりとる。昼礼や引継ぎ簿にて伝達等が漏れないようにしている。

1日1回は必ず職員の方に自分から話しかけるようにしています。毎日自分からコミュニケーションをとり、保育を行う上での相談や悩みを話しやすい環境を作れればと思い行っています。

正社員、パート、etc.という雇用形態の違いを理由した権限・責務・貢献度の大小や優劣の職員間の押し付けや(意識的、無意識的)、容認(そのような空気感の許容すること)の撤廃(→チームワーク意識醸成のための下地作りの段階)

会議や行事の話し合い等で情報共有を行い、互いに意見を出し合ってより良い保育や行事が行えるようにしています。

・役割分担を明確にし、職員全体で取り組めるような工夫をしている。

・定期的なクラスミーティングを実施し、互いの考えや意見を話し合う場を設ける。

・週1回、職員会議を行い全体周知事項の把握と議題に沿った情報共有の場を設ける。

・副主任、保育リーダー、主担任など役職ごとに責任をもって業務に取り組んでもらえるよう組織図を明確にし、的確な情報共有ができるよう働きかける。

業務上、支障をきたすと施設長が判断した場合は個別面談などを行い、個々の抱えている問題を捉え改善できるよう努めています。

・引継ぎの時間などを使って、活動内容や関わり方などを他の職員に意見を求めるようにしている。

・定期的に担任と一対一で面談を行い、悩みや困っていることを一緒に考える。

毎日の昼礼の中で必要な情報を共有する。共有した情報について意見交換をし、今後の保育に活かせる様にする。また行事なども担当者だけに任せるのではなく、他の職員とも意見を出し合ったり役割分担をすることでチームワークの意識を高める様にしている。

4.自園で設定している保育目標はどのようなものですか。また、どのように設定し、どのように達成度合いを評価していますか。現状をあるがままに記述してください。

保育目標について話しあったことがないので、次の職員会議で目標を決め達成出来るようにしていきます。

「たのしみよく笑う子・きもちを伝えられる子・ のびのび健やかに育つ子・がんばろうという気持ちを持つ子・“わたし”らしく生きる子」

物事に興味を持ち友達や先生とのコミュニケーションをたのしみ、「ありがとう」「ごめんなさい」等素直に自分の思いを言葉や動作で表現できるよう促しています。

よく寝て、よく食べ、よく身体を動かして健康的に園生活をすごし、自立・意欲・好奇心をもって過ごしながら、個性を発揮し、自分のやりたい事などを積極的に取り組めるよう設定しています。

達成度合いを評価する機会はなかなかありませんが、定期的な行事の風景を見ていると積極的に進んで楽しむ子ども達の姿をみて日々の保育が反映されていると感じます。

昨年度、園の保育理念を話し合った時に、みんなが思う保育目標のようなものは見えてきましたが、新年度新しい職員が入ってから確認をしていません。達成度合いの評価もしていないのが、現状です。

目標 * 豊かな心身の育ち * 挨拶のできる子 * 自分でやってみようとする子 * 一人で・誰かと一緒に遊びを楽しむ子
* 大きな課題ではなく、日々の生活や遊びの場面を積み重ねていく中で、達成できるように、目標を立ててあります。
* 個々に合わせながら全体も考え、ワンステップアップを目指して、指導計画のもと、保育をしています。

達成 * 日々の保育に追われてはいけなとわかっていますが、そういう日になってしまうことも、正直少なくないです。* 意図的な課題設定ができないこともあります。しかし、特別な設定をしていない中(生活・遊び)にも、達成目標はあり、そのことに関しては、子どもの成長を感じ、子どもも出来たことなどに喜びを感じている場面を見て、評価しています。すぐには成果が出ないものです。そこを理解して、積み重ねる努力、取り組む姿など経過も、評価しています。

自己肯定感を高める保育。褒めて育み、子供自身に共有していく。子供を認める。まだまだ、職員間の中に共有されていない。

様々な活動(音楽遊び、製作、食育)や保育者、友達との関わりを通して、子どもの心身の育成を図ることを目標としています。年間カリキュラムや月案を通して設定し、週ごと、月毎、年ごとにそれぞれの職員が行う評価、反省を参考にして評価しています。

大事なお子様を預けてくださる保護者の方を常に考え安全、安心できる環境を心がけています。

個々の気持ちに寄り添い、保護者の方と共に子どもの成長を喜び、自己肯定感を高める保育を行っています。

達成状況や評価ですが園長が職員と面談をして評価、アドバイスをします。

今年度1度軽く面談しかできていないので時間をとって面談できるようにしたい。

目標は、食育活動・保護者との関わりを密に共に子育てをする、です。

食育活動では、年間カリキュラムを考えていますが、献立を見て決める事が多いです。(各クラス1ヵ月おきに行います。)

食育は、各クラスの担任と調理の先生が考えますが、調理の先生が行います。

また、2歳児に関しては、夏野菜・冬野菜を育てています。収穫した際は、野菜を給食室まで持って行き、調理の先生にお願いし、その日の給食に出て来るようになっています。

毎年行う事で、2歳児クラスに上がる前には、全員が野菜をおかわりするようになっています。子どもたちの食べ具合が評価に繋がると思います。

保護者とのコミュニケーションを多く取り、性格を知る事から始めています。友だち感覚にならないように気をつけながら、色々な話をし、情報を共有しています。一緒に子育てをするという安心感を持つことで、保護者からの大きいクレームもなく過ごしていることが、評価につながっています。

小規模ならではの利点を生かし、きめ細かい目の届いた保育をすることで、異年齢の関わりや保育士との関わりが身近に感じられ、コミュニケーション能力が豊かに育つようにする。

1人1人の個性を認め合いながら集団生活を通して成長に合わせた保育を考えて提供していく。としていましたが、今年度になってメンバーが変わりこの園目標を伝えておりませんでした。(リプロとテソーロのみ書くように話しただけ)

それによって、いくらかの保育に関しての方法や考え方に違いが出ているように感じます。特に今度の2歳児クラスです。異年齢交流がなく、クラス別を意識しているようで、教育的な部分が強くあり、養護の部分が欠けています。**子どもの気持ちに沿った支援というより大人にとって都合よくごかしている、という風に浮いた感じに思うのは、私だけではないように思います。**自分のやりたい保育を押しとおすのがよいのか、他クラスの保育士やこれまでのやり方をなしにしても良い点もあったりと、が戸惑ってしまう点とあります。どちらかというと、後者の方になります。昨年いたメンバーで目標を決めた時は、意見も一致していたし、共通の認識でいたと感じます。達成度合いで言ったら0点～3点位です。

- 1 友達や保育者と元気に遊び、身近な環境に好奇心を持つ
- 2 言葉や表現活動に興味を持ち、豊かな感性をもつ

難しいことはせず、日々の生活の中にある、小さな発見、食育を通し子どもたちといろいろなことを体験、経験していくことです。子どもたちが日々成長していく過程を保育者である私たちが側で見守り、時には援助をしていくことで、子どもたちの笑顔、言葉、行動につながっていくのだと考えています。子どもたちの為に、どんなことをがんばって準備したか、どんな声をかけたのか、それに対してどんな成果が表れたのかを総合的に評価したいと思っています。また、どんなことにも失敗を恐れずに意欲的に取り組んでほしいと思います。

今現在ありませんが、怪我無く一日が終わり、明日もまた楽しく笑顔で登園したいと思えるように考えています。

【保育目標】0歳児:生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける、1歳児:人との関わりの中で関心や好奇心を養う、2歳児:興味関心を育てて、心情や思考力の芽生えを培う【達成度合い】日誌・月案での反省※保育士の目標は定めていませんでした。研修後に設定し、達成に向けての道筋を立てたいと思います。

- 心身ともに健康な子
- 自己表現ができる子
- 思いやりのある子

職員で話し合い決めました。達成度の評価に関しては行っていないので姉妹園ではどのようにして評価をしているのか参考にさせてもらいながら今後は行っていきたい。

保育目標:思いやりを持ち、自律をする子。

どのように設定したか:以前提出した当園のカラーから「やりたい気持ち」、「困っている時に助け合う」をピックアップし、やりたい気持ち=自分一人で出来るようになる。困っている時に助け合う=思いやりの持てる子。という観点から設定しました。

達成度:現状の達成度ではまだまだであると思います。ただ、先生からの声掛けで乳児クラスでも他の子に声をかけたり、先生が泣き真似をしていると「先生大丈夫?」と声をかけてくる子どももいたりします。幼児クラスは自分のことをやる前に他のことに気が行ってしまう先生に声を変えられることが多くありますが、少しずつ変化が見られればと思っています。

今は事故なく安全に毎日過ごすことを目標にしています。園長不在の日が多かったので安全を第一に活動していました。行事ごとに話し合いを重ね、ヒヤリハットや子どもの様子などの予測をたてて安全に活動出来ていると思います。これから先生達と話し合って具体的な保育目標を立ていきます。

園としての目標や具体的取り組みに関しては、現在社内の諸々の規範、ルール、目標関係を学習し、現場の保育士の状況（能力、経験、やる気の度合い）を見極めながら、早急に考え設定していきたい

・挨拶ができる子・優しく思いやりをもつ子・明るく元気な子・みんなを好きになり自分が好きな子・よく食べ元気に育つ子などを保育目標にしています。

以上のものは普通の保育の中で培われ、それらを行事等に活かし、その各反省会でお互いの評価、反省、改善をし、新たな目標に向かってみんなで協力し合えるように心掛けています。

少人数保育の特性を活かし、家庭的な雰囲気을ベースとしながら各年齢に応じた保育目標を設定。

（園全体で大切にしている目標）

- ①基本的な生活習慣の確立
- ②主体的な遊びや活動を通して自立心を育む
- ③他者との関わりの中で思いやりの心・感性豊かな心を育む
- ④活発に体を動かすことを楽しみながら基礎体力をつける。
- ⑤食べることの楽しさを感じながら、食と体の繋がりを学ぶ。

健康的な生活習慣が身につくよう食事・睡眠・排泄・遊びの場面で、丁寧に関わるように指導。

子どもの発達は一様でなく、個々によっても大きな違いがあるため、職員に対しては固定概念にとらわれず、その時、その時の子どもの成長を見据え、必要に応じた援助をするように伝えています。

各クラスの目標設定の把握と達成度合いは、月案・週案・保育経過記録・クラスミーティングなどの報告などから評価しています。その中で改善点があれば伝え、職員自らアイディアを出せるように働きかけています。

- ・異年齢の関りを通して、社会性・協調性を身につける
- ・基本的な生活習慣を身につける
- ・自分を豊かに表現する。

やっと全員で話し合って設定できたばかりなので、評価ができない。

様々な事に興味・関心を持ち探求心のある子どもを育てる。食育を行ったり、戸外遊びで咲いている花や動物などを見つけた時は積極的に子どもに話しかけ、様々な物事に興味を持てるようにする。そして自らそれらを見つけて、保育者や友達に伝えられたりする事で、達成度合いを評価している。